

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：23003

学校名：美香保小学校

改訂のポイント

- 一人一人の学びを大切にする授業と、思考力・表現力・判断力等を育む他者との学び合いのある授業の一体的な充実。
- 子どもが自らの伸びを実感したり、課題意識をもって学んだりするための家庭学習の取組と美香保塾の連携。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ☆自ら課題をもち、主体的に学びに向かうことのできる子ども。 ☆他者との対話や関わりの中で、学びを深めていくことができる子ども。 		
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	【昨年度の具体的な取組】 ○授業における一人一台端末の効果的な活用法の検証。 ○「家庭学習プラン＝計画」、「ぐんぐんカード&表彰＝評価」、「美香保塾＝意欲付け」を生かした家庭学習の取組の充実。	【成果】 ⇒子どもたちが活用できるアプリも増えるなど一人一台端末が子どもたちにとってより身近なものとなった。 ⇒それぞれの取組が家庭学習の取組の充実につながった。	【課題】 ◇試行を開始した一人一台端末と家庭学習を連携させた取組は、さらなる充実を図っていく必要がある。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○主体的・対話的な学びを生む授業を通して、思考力・判断力・表現力等を育む。(最重要)	【成果】 ⇒多様な見方・考え方を知ることが主体的に表現する姿につながり、「わかる」「できる」「楽しい」という子どもの思いを生んだ。	【課題】 ◇「対話的な学び」を生むための手立てを検証していく必要がある。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○「わかった」で終わらない授業を通して、獲得した知識や技能を活用する力を育む。	【成果】 ⇒獲得した知識や技能を活用する場を通して、知識や技能の定着を図ることができた。	【課題】 ◇定着の度合いについては個人差が見られ、さらなる個に応じた指導の大切さが明らかとなった。
今年度の具体的な改善策(取組)	取組の最重点	【取組の共有】 ○主体的・対話的な学びを生む授業を通して、思考力・判断力・表現力等を育む。 ○一人一台端末の家庭への持ち帰りとの連携による家庭学習の取組の充実。		
	具体的な改善策(取組)	○主体的・対話的な学びを生む授業を通して、思考力・判断力・表現力等を育む。 ○子どもの「～たい。」を引き出す「魅力的な教材との出会い」を大切に授業改善。 ○子どもの知識や技能の習得を助ける視覚的支援の充実。 ○一人一台端末を活用した「個別最適化学び」の場の充実。 ○家庭学習の取組の継続と、一人一台端末の持ち帰りとの連携による内容面での充実。		
方法	検証の方法	○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用(日常のテストやノート、観察等) ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標(子どもの自己評価)、ICTの活用に係るアンケートの具体的な活用方法		